

第3回三浦市地域公共交通会議 議事録

【日時】 令和6年8月21日（水） 11:00～11:30

【場所】 南下浦コミュニティセンター 2階 多目的ホール

【出席者】

≪委員≫

会長 （学識経験者）

日本大学理工学部 大沢 昌玄 教授

副会長 （市民代表）

三浦商工会議所 山下 芳夫 専務理事

（事業関係）

芙蓉交通株式会社 八木 達也 代表取締役

京急三崎タクシー株式会社 阿部 正浩 常務取締役

一般社団法人神奈川県タクシー協会 三上 弘良 専務理事

京浜急行バス株式会社 事業統括部 植田 雄介 業務統括課長【Web出席】

一般社団法人神奈川県バス協会 関上 義明 専務理事【Web出席】

神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 向山 賢一 幹事

特定非営利活動法人 歩 飯島 徳貴 理事長

（国）

国土交通省 関東運輸局 神奈川運輸支局 森下 文章 首席運輸企画専門官

（神奈川県）

神奈川県 県土整備局 都市部 交通政策課 中津川 宗尉 副課長

（警察）

神奈川県警察 三崎警察署 河野 正稔 交通課長

（三浦市）

三浦市 政策部 矢尾板 昌克 政策部長

≪関係者≫

京浜急行電鉄株式会社 グループ統括部 佐野 泰 グループ統括課長

（事務局）

三浦市 政策部 政策課 鷺阪 慎太郎 政策課長

（関係神奈川県職員）

県土整備局 都市部 交通政策課 廣野 修一 課長代理

事務局（鷺阪課長）

➤ ただいまより第3回三浦市地域公共交通会議を始めさせていただきます。

本日、司会進行を務めます政策課長の鷺阪と申します。よろしくお願いいたします。

本会議は公開することを原則としております。また傍聴希望者がある場合には手続を経て、これを受け入れることとしておりますのでご了承願いたいと思います。

また報道機関の皆様にお願いがございます。取材及び撮影は、原則記者席でお願いいたします。撮影は、会議の進行の妨げにならないような範囲でお願いいたします。

それでは議事に先立ちまして、本日の資料の確認をさせていただきます。

これ以降、着座にて進行させていただきます。

まず次第と委員名簿があり、縦書きの両面になっています。

次に資料ですが、縮小印刷したものとなっており、1 から 15 ページになっています。資料が不足している方はいらっしゃればお申しつけください。

本日の会議の出席委員につきましては名簿記載のとおりであります。

新たな委員といたしまして、神奈川県運輸支局首席運輸企画専門官の森下様、神奈川県交通政策課副課長の中津川様をご出席いただいております。

また、本市政策部長の矢尾板も新たな委員として出席させていただいております。

あと1点、向山委員が遅れて到着するというご連絡をいただいております。

その他につきましては第2回会議に引き続きとなりますのでご紹介は割愛させていただきます。

京浜急行バス株式会社の植田委員と一般社団法人神奈川県バス協会の関上委員は本日オンラインでの参加となります。

その他、市の事務局担当者、また参加いただいております神奈川県の職員につきましても、名簿に記載のとおりでございますので、紹介は割愛させていただきます。

それでは、以後の進行は大沢会長にお願いしたいと思います。

大沢会長よろしく申し上げます。

大沢会長

➤ はい、了解しました。

本日は第3回ということになっております、皆様よろしく願いいたします。

本日の議題ということでその他含めて2件ございます。

早速ですが、議事に入りたいと思います。一番目の議題でございます。三浦市域における実証実験の実施状況についてであります。事務局よりご報告の方よろしく願いいたします。

事務局（鷺坂課長）

➤ それでは三浦地域における実証実験の実施状況につきまして、資料により説明をいたします。

まず2ページ目をご覧ください。実証実験の概要についてでございますが、実証実験

は道路運送法第 78 条第 2 号の自家用有償旅客運送制度により、三浦市を実施主体として芙蓉交通株式会社、京急三崎タクシー株式会社を協力事業者として実施しております。

また、あいおいニッセイ同和損害保険会社と保険について契約をしております。

出発地につきましては、三浦市内としており、時間帯は 19 時から 25 時までで実施しております。

また、利用者に制限はありませんが、ライドシェアを利用するためには GO アプリへの登録が必要となっております。

ドライバーにつきましては、三浦市在住・在勤者で車両は自家用車としております。

また料金につきましては、タクシーの事前確定運賃と同額となっております。

次に 3 ページ目、運行開始までの主な動きでございますが、ドライバーの一次募集を 2 月 21 日から 3 月 13 日まで行い、12 名のドライバーと規約の締結をしております。3 月 26 日の第 2 回三浦市地域公共交通会議終了後、国への登録の申請を行い、ドライバーに必要となる研修等を実施。4 月 16 日に自家用有償旅客運送者としての登録を終え、翌 17 日からかなライド@みうらの運行を開始しています。

次に 4 ページ目、利用実績についてでございます。

7 月 16 日までの 3 ヶ月間の集計となっております。

ドライバー数につきましては、その後追加募集により 3 名追加となっており、現在は 15 名でございます。

稼働台数は延べ 201 台、1 日平均 2.2 台。利用実績は 305 回、1 日平均 3.4 回となっております。

事故・トラブルは発生しておらず、昨日 8 月 20 日現在におきましても 0 件となっております。

また、これまでの実績から主な乗車地は三崎港周辺で、目的地は三崎口駅周辺であることがわかってきております。

次に 5 ページ目、週別の利用実績でございますが、5 月 10 日のアプリ改良以降、利用実績は増加してきており、6 月 19 日からの 4 週間では、運行回数は 1 日平均 5 回となっております。

開始当初 1 日平均 5 回程度の利用というものを想定しておりましたので、現在それと同水準の利用件数となっております。

次に 6 ページ目、曜日別時間帯別の実績でございます。一番左の図の曜日別実績では、金曜日と土曜日の利用が多いという状況となっております。

一方、真ん中の図の時間帯別の実績になりますが、どの時間帯もまんべんなく利用されているというような状況になっております。

次に7ページ目、アプリ配車のマッチング率になります。マッチング率とは表の下に※印として記載をさせていただいておりますとおり、ユーザーがGOアプリを使用してタクシー・ライドシェアに乘ろうとした回数、配車依頼回数に対する実車回数の割合のことですが、表の下から2番目のマッチング率(B/A)と一番下の前年同月、マッチング率の欄との比較からわかりますとおり、ライドシェアの運行以降、マッチング率は向上しており、ライドシェアが稼働していなかった前年同月と比較すると2割近い向上となっております。

次に8ページ目、主な出発地、降車地についてでございます。

三浦市を図のような六角形のメッシュに区分し、そのメッシュごとに集計をしております。

乗車地は三崎港周辺や三浦海岸周辺が多いという状況になっております。

一方降車地につきましては三崎口駅周辺や市外が多くなっておりますが、乗車地点のように集中していない状況になっております。

次に、9ページ目、主な配車不成立地域になります。配車不成立とは下の※印に記載をさせていただいたとおり、アプリで配車依頼したもののタクシーにもかなライドにも乗車できないことを指しております。

この配車不成立につきましては、三浦海岸駅周辺、三崎港周辺に多く、曜日では特に土曜日で、時間帯は24時台に不成立が多く発生しているという状況になっております。

続きまして10ページ目、周知についてでございます。

広報活動についてですが、実証実験の概要やアプリの利用方法等につきまして、鉄道駅や病院等へのチラシの配架、県や市の広報紙、ホームページ、SNSへの掲載、テレビやラジオ等による周知を行っております。

また併せて関係者と連携し、夏の観光客に対しても、周知を行っております。内容につきましては資料に記載のとおりでございます。

続きまして11ページ目、アプリの利用方法説明会についてでございます。

アプリの初期設定や登録を始め、利用方法等につきまして、飲食店・宿泊施設のオーナーや高齢者の方など、市民向けに説明会を実施しております。

主な活動実績につきましては、資料記載のとおりとなっております。

次に 12 ページ目、運用面での取組についてです。

まずアプリの改良についてですが、ライドシェアの利用には、アプリ上で目的地の入力とキャッシュレス決済の登録が必要となっておりますが、これらの設定がないため、ライドシェア車両が配車依頼の対象にならないという課題が運用当時にございました。

これに対応するため、近くにライドシェア車両がいるときには、これらの操作をアプリ上で必須とするようなアプリ改良を 5 月 10 日に実施しました。

また経由地が登録できないという課題がございましたが、こちらにつきましては経由地発生時にドライバーによる運賃再計算を可能とするアプリ改良を 7 月 16 日に実施しております。

軽自動車につきましては、ライドシェア車両の対象外でございましたが、軽自動車につきましても対象車両とするアプリ対応を行い、7 月 25 日からドライバー募集要項を改正し、軽自動車も対象としてドライバー募集を行っているところでございます。

次にドライバーへの情報提供やフォローアップとしまして需要の多い地域ですとか、曜日などを配車依頼の傾向につきまして、市の方からドライバーの方に情報提供を行っているところです。

また、1 ヶ月に 1 回タクシー会社による研修を実施するとともにドライバーからの意見を聞き、安全安心に運行できるフォローアップを実施しております。

ドライバーの方たちの声としまして、「最近呼ばれるようになってきて嬉しいです。」「地域貢献のために頑張りたい。」といった声ですとか、「アルコールチェックなどの遠隔点呼の通信がうまくいかず、時間がかかることがある。」などといったご意見もいただいているところでございます。

次に 13 ページ目、本格実施に向けて需要や運行面での課題を把握し、検証・効果分析に活用するため、利用者やドライバーなどアンケート調査を実施しております。

利用者向けには 5 月 17 日から、一般向けには 6 月 17 日から、ドライバー向けには 7 月に実施しており、また 10 月にもヒアリングを予定しております。

次に 14 ページ目、今後の進め方についてでございます。

実務者で構成する運営会議で実績や課題把握、運用方法の見直しを議論しております。安全面や需要を踏まえた採算性などをしっかりと検証し、本格実施に向けライドシェア検討会議や三浦市地域公共交通会議で検討を深めていくこととしております。

最後に 15 ページ目、参考として、国の動きについて資料を記載しております。

タクシー事業者以外の者が行うライドシェア事業としまして、全国の移動の不足の解消に向け、自家用車活用事業等についてモニタリングを進め、検証を行い、各地点での検証結果の評価を行います。こうした検証の間、タクシー事業者以外の者が行うラ

イドシェア事業について、内閣府及び国土交通省の論点整理を踏まえ、法制度を含めて事業のあり方の議論を進めるということが示されております。

また日本版ライドシェアの雨天時に対応したバージョンアップとして、雨天時の移動の足不足を解消するため、1時間5ミリ以上の降水量が予報される時間帯に、日本版ライドシェアの車両の使用を可能とすること、またタクシー、乗合タクシー、日本版ライドシェアや公共ライドシェアを地域住民や来訪者が使えない交通空白の状態を早急に解消するため、国土交通省交通空白解消本部の設置などといった国の方の動きございました。

説明は以上となります。

大沢会長

- ご説明ありがとうございました。配布いただきました資料に基づき、事務局よりご説明いただいたところでございます。この内容につきまして皆様からご質問、ご意見等あれば伺いたいと思います。

私は12ページのところで、軽自動車も対象としたアプリ改良になっているということで募集要項改正ということですが、私の認識不足ですが、常にドライバー募集はし続けているという理解でよろしいでしょうか。

事務局（鷺坂課長）

- お答えいたします。ドライバー募集の方は継続的に行っている状況でございます。特に期限は決めずに行っています。

大沢課長

- わかりました。ちなみに改正後、新たにお申し込みされたということまでには至っていないという認識でよろしいでしょうか？

事務局（鷺坂課長）

- 軽自動車での応募というのは、改正以降は1件ございました。

大沢課長

- わかりました。ありがとうございます。
他にご質問等いかがでしょうか。

森下委員

- 14ページに今後の進め方で、もしイメージを持っていच्छゃったら教えていただきたいのですが、実証実験は12月までで、その後すぐ1月から神奈川版ライドシェア

の本格実施というに書いてございますけれども、これは12月16日まで実証実験を行って、極端な話12月17日から本格運行を行うというイメージをお持ちなのか、それとも一旦12月16日までやって、検討した上で、本格実施を行うのかなど、どのようなイメージをお持ちでしょうか。

大沢会長

➤ ご質問ありがとうございます。では矢尾板委員からお願いします。

矢尾板委員

➤ ご指摘のとおり12月16日まで実証実験を行います。本格実施に向けましては現在神奈川県と交通事業者である芙蓉交通、京急三崎タクシーと三浦市の方で、どのような形で本格実施をしていくかという検討中です。なるべく市民や観光客にサービスを切らせないようにと考えておりますので、できれば間を置かずに本格実施という形で進めていきたいと考えておりますけれども、いろいろな手法等がございますので関係者とそれに向けて検討を行っております。

大沢会長

➤ ありがとうございます。では引続き協議の方をよろしくお願いします。

三上委員

➤ タクシー協会の三上でございます。ご説明ありがとうございます。ただいま森下委員から出た話にもちょっと似てると言えば似ているのですが、運営会議の方でいろいろ細かい議論がなされているというふうに思っておりますが、14ページの今後の進め方を見ると三浦市の地域公共交通会議がこの後10月から12月に4回、5回と重ねていくということになっておりますが、矢尾板委員がおっしゃった最終的な方向性といえますか、いろいろな手法があるとは思いますが、それらを決めていくのは、基本的には運営会議の中である程度の方向性を示した上で、最終的にはこの地域公共交通会議の中で決定するという認識でございますけれども、これについて第5回の地域公共交通会議で最終ジャッジをするという認識でよろしいかを改めて確認させてください。

矢尾板委員

➤ 三上委員のご指摘のとおり、今協議を重ねておりますので、最終的には5回目の地域公共交通会議の中で皆さんにお諮りするという形を考えております。

大沢会長

- ありがとうございます。他いかがでしょうか。

飯島委員

- NPO 法人歩の飯島です。これは逆に京急三崎タクシーや芙蓉交通にお聞きしたいです。ライドシェアは別に反対ではなくて賛成で、三浦市のために良いと思いますが、今の時代的にはバス協会とかタクシー協会とかがいる中で、大型二種免許を取るのに 55 万から 60 万かかるんですね。普通二種免許を取るのに 25 万かかる。そういう人たちを育てて運転手さんがいないから各種台数が減ってきたりしてるのですが、このままいったら実際にバスはないかもしれないですけど、タクシーの運転手がいらなくなってしまうという心配があるのですけど。実際ライドシェアだったらお金がかからないわけじゃないですか育成に。講習を受ければいいわけですよ。そもそも私もバスの運転手だったし、タクシーも乗ったことあるし、育成しなくてもライドシェアで賄ってしまうのがいいのかわからないのですけど、そもそもはバス会社やタクシー会社の生き残りというところで難しくなってしまうのではないかという不安があるのですけど。うちも自家用有償旅客運送をやっているんで、基本的には運転講習もしくは二種免許を所持していることっていう中ですけど、その辺って実際このままいって軽自動車は OK までしてしまう中で、バス会社、タクシー会社はどうなのでしょう？という疑問があるのですけど。実際運転手さんを確保するのは皆さん大変ですよ。うちもそうだし、その中で一種免許だけで、いわゆる言ってしまうと自動車学校とか行かずに、旅客運送ができてしまうというくくりで言ったら、本当に営業ナンバーの車がいらなくなってしまうのではないかなと、その括りは何だろうと疑問に思うのですけど。

大沢会長

- ご質問ありがとうございます。いかがいたしましょうか。

三上委員

- 今、飯島委員がおっしゃいましたとおりの部分は若干あるにしても、基本的にこの制度自体がタクシーを補完する位置づけということでやっておりますので、タクシーがまず前提であって、その足りない部分をこの日本版ライドシェアで埋めていくという考え方なので、ライドシェアに食われてしまうってことにはならないという認識で進めていっております。

大沢会長

- ご指摘ありがとうございます。この地域公共交通会議の成り立ちから踏まえて、どうしてもライドシェアが中心なのですが、今お話いただいたとおり、本来であれば公共交通といえば、バスもあれば、タクシーもありますし、本当はどういう役割分担の中でこ

のライドシェアというものを育成していくのかということは、本当はどこかでちゃんと議論しないと、多分今飯島委員がご懸念のとおり、ライドシェアだけで議論しているけど大丈夫なのかという議論になってしまうと思うので、いずれかの段階でちょっと市の方をお願いなのですが、再生法に基づく地域公共交通計画をちゃんと皆様と議論させていただきながら作らせていただいて、その中で鉄道が持つ役割、バスが持つ役割、タクシーが持つ役割、そしてそれを補完する意味でのライドシェアというものをどう位置づけるのかということはやっぱりどこかでちゃんと議論しないと、混乱と誤解が生じてしまうと思いますので、それをぜひこのライドシェアの運用、それから実行に対すところの会議でありますけれども、ぜひ三浦全体の皆様に移動手段がどうあるべきなのかということのある段階でちゃんと考えていただいて、その中でそれぞれの交通手段がどうあるべきなのかということを中心にちゃんと議論しないとまずいのではないかなと思っています。ぜひその辺はご検討いただければと思います。

他いかがでしょうか？

大体よろしゅうございますでしょうか。

本日は中間報告ということでございます。3月26日に皆様とご議論させていただきまして、ライドシェアを4月からですね、実行しているところでございますが、当然その会議の中でもありましたけれども、ぜひ中間とか皆さんに情報共有してほしいという話がありましたので、本日報告ということで皆さんにお集まりいただいたところでございます。引き続き、先ほどスケジュールのご質問をいただいたところでございますが、今後の本格運用とか、そういったことに状況を踏まえまして、あと2回ほど会議が予定されておりますので、ぜひ皆様引き続きよろしくお願いいたします。

よろしゅうございますでしょうか。そうしましたらもう1件その他ということで議題がございますけど、その他ありましたら事務局よりお願いいたします。

事務局（鷺阪課長）

- 本日の議事録につきましては、委員の皆様にご確認いただいた上で調整をし、その後市のホームページに公開をさせていただく予定となっておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局からは以上になります。

大沢会長

- はい、了解いたしました。議事録につきまして、ご確認いただいた上での公開というお話を伺いましたので、皆様よろしくお願いいたします。

全体を通しまして皆様何かございますでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。

実際に運行が始まりまして約4ヶ月から5ヶ月が経っているところでございます。

今のところトラブル、事故等なしで運行していただいたということでございます。本当に八木社長いろいろとありがとうございます。一方で、今後の本格運用に向けて先ほどご質問いただきましたとおり運営会議等々ですね、いろいろご議論いただければなと思います。よろしくお願いします

先ほどちょっとお話させていただきましたが、ライドシェアも含めて三浦の市民の皆さんの移動のあり方っていうのは、やはりちゃんと議論いただいた方がいいのではないかなと思いますので、その点につきましても引き続きご検討の方よろしくお願いします。

それでは、本日の議題は終了いたしましたので進行の方を事務局にお返ししたいと思います。

事務局（鷺阪課長）

➤ 大沢会長ありがとうございました。

それでは以上をもちまして第3回三浦市地域公共交通会議を終了いたします。

委員の皆様、本日は Zoom でのご出席を含めご参加いただきまして誠にありがとうございました。